

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年9月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672400068
法人名	株式会社 九州保健医療
事業所名	グループホームおおうら
所在地	鹿児島県南さつま市大浦町8232 (電話) 0993-58-5102
自己評価作成日	平成30年8月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年9月19日(水)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の敷地内に、畑や実のなる木があり、利用者の方と散歩をしながら収穫を一緒にするなどして季節を感じて頂いている。自立支援を重点におき、小さな事でもできる事はして頂きながら、出来ない事の支援を個々に合わせて行っています。又、個々に合わせて役割を持ってできる事をして頂いており、生きがいを持って生活をして頂き安心して生活がおくれるように支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、「夢」「虹」の2ユニットで運営されている。自治会には加入できないが、地域との関係性を深めるため、ホーム行事である、「夕涼み会」「夏祭り」へのチラシを近隣に配り参加を呼びかけたり、老人クラブの方にサポーター養成研修会の開催に協力し、認知症キャラバンメイトの役割を果たすなど地域貢献している。
- 法人の運営理念とは別に職員全員で話し合い作られた介護理念がユニットごとにあり、今年度から職員一人ひとり理念について自己評価を実施、より一層理念に対する思いや意識を深めてもらうよう取り組んでいる。
- 排泄は、トイレやポータブルトイレを併用して、定時で誘導したり、本人の排泄のリズムを把握しながら声かけしトイレで排泄していただくか、布下着の方も多くおむつの使用量は少ない。そのため、家族からは満足の声が聞かれている。夜間帯にポータブルトイレを使用される方もあるが、居室は清掃も行き届き臭いも気にならず清潔な住環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲げて、朝礼や仕事前に声を出し復唱して、その理念を共有して実践につなげている	法人理念は、パンフレットに掲載され、共有スペースに掲示されている。今年度から職員に自己評価をしてもらいより一層理念に対する意識向上に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	運営推進会議を開催しており、夕涼み会などの行事にも参加をお誘いしている 日常的に地域との交流する機会が少ない為行事などの参加など増やしていきたい	自治会の加入はないが、夏祭り、夕涼み会の案内を地域に配布し交流をしている。また、利用者は、地域の祭りや運動会の見学に参加している。職員は老人クラブから認知症について理解を深めるための講演を依頼され講師派遣し地域に貢献している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	行政からの依頼で、老人クラブで認知症の講演会を行なうこともあり、地域の方に認知症の理解や接し方など伝えている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見を参考にされたり、取り組み状況など報告をしている	管理者は、メンバーの固定化傾向に悩んでいるが、家族など多方面に会議への参加を促してみるよう検討している。会議で出された意見は、職員や家族などと情報の共有を図り、サービスの質の向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者に、相談など連絡を密にとっている	市担当者とは、電話や面談などで相談や指導などをいただき協力関係を築いている。福祉事務所職員との協力関係もあり、利用者が安心して暮らせるよう配慮している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について少なくとも年に2回の研修を行い職員同士で連携をとり拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、年2回研修会を開催し、知識や技術を研鑽するとともに行動を抑制するような言葉使いやケアをしないよう取り組んでいる。今年度、身体拘束の指針について内容を見直しするなど整備した。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について研修を行い事業所内での虐待が見過ごされないように職員同士で注意を払い防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度の利用が必要な方には家族へ提案したこともあり、職員も研修会で学ぶ機会を持っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の時は、疑問点などないか尋ねながら説明を行って理解して頂いている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や玄関に要望箱を設置している。普段の会話でも、家族からの要望などあればその都度職員で情報共有を行い運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族から面談時に希望や要望が聞かれた時など、申し送りにて情報を共有し、職員会議などで話し合い運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議やカンファレンスなどで職員の意見を聴いている</p>	<p>全体研修、カンファレンスなどで職員からの要望、提案などがあり、ハード面を見直した。勤務時間の短縮やパート職員が子育てしやすい職場環境を検討したり、バーベキュー大会、忘年会、食事会などで親睦を図り働きやすい職場環境、労働条件の整備に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員に合わせて、労働時間を要望に応えたりするなど働きやすい環境作りに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内では2カ月に1回研修会を行っている。又、外部研修もお知らせし、受講する機会を確保している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者がグループホーム協議会へ参加や研修会の参加を通して同業者との交流を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に、本人に面談をし話を聞いたり関係機関からも情報収集し利用者様が安心して生活が送れるよう関係づくりに努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に、家族の不安や困っていることを聞き、要望を把握して家族との信頼関係作りに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居時に必要な事を家族、本人の要望から見極め、他病院受診やサービス利用を検討している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の出来る事を見つけその方に合わせて一緒に行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	3カ月に1回の近況報告を家族へ提出し、面会に来られた際は本人の状況を詳しく報告し家族の思い本人との絆を大切にしながら支援している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所のスーパーで一緒に買い物に行ったり墓参りに連れて行ったり面会が来られた時は一緒に居室で過ごして頂いている	友人、知人の面会も多く、電話の取次ぎ、手紙や葉書などの代読を支援、家族と美容院を利用したり、施設に面会に行かれたり、お盆には自宅訪問され関係性が途切れることがないよう配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	グループホームでの生活を通して利用者の方が交流できるように全員で過ごせる場を設け利用者同士の関係を把握してレクリエーションやテレビ鑑賞をしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、必要に応じて相談や支援につとめている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1人ひとりの思いや希望などの把握に努めレクリエーションの中からその人の希望や意向をくみとるようにしている	本人との信頼関係を大切にしながら、気持ちを表現しやすいよう相手に合った話し方で思いを聞き取り、意志表出が困難な方の場合は、家族や職員の意見を聞きながら本人の思いを汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報や、利用者の方からの会話を通じて生活歴を把握してサービス提供の活用に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援経過記録や業務日誌に記録し、出勤時に確認し把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月カンファレンスなどで、課題やケアについて話し合い、意見を出し合いそれを反映し介護計画を作成している	本人の「やりたい事探し」をアセスメントにて抽出し、役割を明確化して生きがいに繋がるよう介護計画に反映させている。職員は、3ヶ月ごとにモニタリングを実施、サービスの見直しは柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過記録に毎日気付きを記入し出勤時に職員が確認し申し送りや朝礼で情報共有し実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1人ひとりのニーズに合わせて他科受診の介助など行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防の方々と連携を取り、安全に生活が送れるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に説明し納得が得られたかかりつけ医と連携をとっており、適切な医療が受けられるよう必要に応じて他科受診も対応している	月2回、訪問診療、薬剤師との連携があり、オンコール体制がある。緊急時は主治医の適切な指示があるなど24時間適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の往診時や何かある時はその都度相談しており、適切な医療が受けられる様支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は、入院先の病院の相談員等と連携をとり、情報交換を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時や、介護度が高くなった時などに家族等に相談しながら方針を共有している</p>	<p>重度化した場合などは、主治医の判断を仰ぎ、家族と相談の上で、医療機関や介護施設などを紹介している。管理者は、終末期の方針は利用者や家族と情報を共有しているが、文書化されていないため今後整備したいと考えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>個々の病状を把握して病状が出た場合には、意志との連携を取り指示に従っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者と職員の避難訓練を年に2回水害、地震の災害時の訓練を年に1回行っている。地域の方々の参加協力体制を整えているが実現に至っていない</p>	<p>地域消防団の協力体制があり、土砂崩れ対策マニュアルが整備されている。消防立ち合いの避難訓練は年2回実施されており、災害時の非常時持ち出し品リストを作成し、備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人ひとりの気持ち、思いをくみとり、入浴時、排泄時、プライバシーを損ねない言葉かけ介護を行っている	管理者は、馴れ合いにならないよう職員に注意したり、失礼な言葉使用や対応がないようその都度指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションをとり、利用者の方が言いやすい環境を作り、衣類の選択は本人にしてもらえるように心掛け、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にゆっくりのびのびと温もりに満ちた生活が出来る様に支援している。その人の意思を尊重し日々過ごして頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪の毛の洗髪や爪の手入れ好きな衣類を着てもらいおしゃれができるよう支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しんで頂ける様に献立も工夫し誕生日の時に嗜好について伺い取り入れている。準備や食事の片づけも利用者と職員と一緒に楽しみながら行っている	菜園で採れたピーマン、オクラなどの夏野菜の活用、食材は地元から仕入れたり、ネット注文したりする。能力に応じてお手伝いがあり、家族との外食や庭で花見の弁当を楽しんでいる。地域の方から野菜の差し入れがある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	食事はバランス良く、切り方も 工夫して美味しく食べて頂ける 様工夫している。 水分補給もお茶以外の時間帯で も声かけで飲んで頂いている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後、声かけを行い 口腔ケアをして頂いており口腔 ケアをされる一人一人の口腔状 態や能力に応じてして頂いてい る		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	個々に合わせて、時間のパター ンを把握し自立できるよう、声 かけなどの支援をしている	排泄のリズムを把握し、定時にトイレ 誘導したりしているが、布下着の方も 多く、おむつの使用量が少ないため家 族も満足している。テープ式紙おむつ の方は一人もおられずトイレやポー タブルトイレを併用し排泄の自立支援を おこなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便チェックし、水分を 多く取ったり運動など便秘予防 に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルチェックを行いその日の体調や本人の希望に応じて入浴を支援している	時間を決めずに必要に応じて入浴してもらったり、タイミングを図り気持ちよく入浴してもらっている。入浴ができない場合は、清拭や足浴にて保清できるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの利用者のペースで居室で休まれたり、リビングでくつろいで過ごされ夜も一人一人のペースで入眠されている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示の元で服薬して頂き薬が変更になった場合、申し送りして伝達して理解ができるようにしており、症状に変化があった場合主治医に報告して指示に従っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事、手伝い、紙折り、歌、トランプ、編物、散歩など一人ひとりがやりたい事を尊重し楽しみ方を提供している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、外出支援、墓参り等一人ひとりの希望に合った支援を行っている	日常は、園内を散歩したり、果樹などを見に行くなどして日光浴を楽しんでいる。少人数で花見見物（芝桜、コスモスなど）に出かけているが、天候や季節によって、ドライブして四季の移り変わりを感じてもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理はご家族がしていますが、買い物の際など支払いをして頂いている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族の方から電話が来てお話することはあります。希望されれば電話もしたりできる体制にしています。年賀状などは書いて頂き家族に出している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間が利用者様にとって不快や混乱を招くような事のない様に配慮し、季節感を取り入れて壁飾りを工夫している</p>	<p>玄関には、彼岸花などの季節の生花が活けてあり、リビングはソファや椅子など設置され、余暇活動に活用されたり、思い思いに過ごせるよう配慮されている。リビングには、神棚や仏壇があり、朝晩、手を合わせる利用者もおられる。音楽が流れ利用者や職員の自然な話し声が聞こえ温かみのある空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の和室でも一人でゆっくり過ごされたり気の合う利用者同志でゆっくり過ごせるような工夫をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室は本院、家族の方が日常使い慣れた物や好みの物を飾ったり置いたり本人が居心地良く過ごせるように工夫している	大収納のクローゼットが備え付けてあり、毛布やタオルケット、マッサージチェアなど使い慣れた物を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	建物内部は、トイレ、お風呂の表示をして利用者の方がわかりやすく、行きやすい自立した生活が送れるように工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない